

## 「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

### 第 91 回

『「意思は人なり」 ～ 求むれば必ず与えられる ～』

2022年1月6日午前中は、理事長を仰せつかっている恵泉女学園、午後は、名誉教授である順天堂大学、その後、新渡戸稲造記念センター長を務める新渡戸記念中野総合病院に向かい理事長・病院長の入江徹也先生のお部屋に「新年の挨拶」に伺った。新渡戸稲造(1862-1933)の話で大いに盛り上がった。大変、有意義な、会話で、長い時間を過ごした。今年(2022年)は、創立90周年である。新渡戸稲造が初代理事長である。

想えば、検事総長退任後に、新渡戸稲造が初代学長であった東京女子大学理事長に就任された原田明夫氏(1939-2017)と、2000年に『新渡戸稲造 武士道100周年記念シンポ』、2002年『新渡戸稲造生誕140年』、2003年『新渡戸稲造没後70年』、さらに2004年には、国連大学で『新渡戸稲造 5000円札さようならシンポ』を開催した。新渡戸稲造が国際連盟事務次長だった1922年に「国際知的協力委員会」(現ユネスコ)を設置した。当時のメンバーはフランスの哲学者ベルグソン(1859-1941)(議長)、アインシュタイン(1879-1955)やキュリー夫人(1867-1934)ら12人で構成された。それから今年(2022年)は100周年である。それが、筆者は、『われ21世紀の新渡戸とならん』(日本語版 & 英語版)の出版に繋がった(画像)。人生の不思議な繋がりである。

### 「Union is Power」(協調・協力こそが力なり)

- 1) 世界の動向を見極めつつ歴史を通して今を見ていく。
- 2) 「理念を持って現実に向かい、現実の中に理念」を問う人材の育成。
- 3) 複眼の思考を持ち、視野狭窄にならず、教養を深め、時代を読む「具眼の士」の種蒔き。
- 4) 世の流行り廃りに一喜一憂せず、あくせくしない態度。
- 5) 軽やかに、そしてものを楽しむ。自らの強みを基盤とする。
- 6) 学には限りないことをよく知っていて、新しいことにも、自分の知らないことにも謙虚で、常に前に向かって努力する。
- 7) 段階ごとに辛抱強く、丁寧に仕上げていく。最後に立派に完成する。

8) 事に当たっては、考え抜いて日本の持つパワーを十分に発揮して大きな仕事をする。

9) 自分のオリジナルで流行を作れ！

10) 昔の命題は、今日の命題であり、将来のそれでもある。

新渡戸稲造の『一日一言』(1915年 実業之日本社)の今日の1月7日には、『「意思は人なり」。孟子も「求むれば則ちこれを得、舍つれば則ちこれを失う」といった。「門をたたけば開かる。求むれば必ず与えらる」とはキリストの言である。』が鮮明に蘇ってきた。



**I Want to Be  
the 21st Century NITOBE Inazō**



Okio Hino, M.D., Ph.D.